

# JRR-3新利用申請システムについて

『*JRR-3 Research Information NaviGator* (「RING」=「環」)』



**JRR-3 ユーザーズオフィス**  
*JRR-3 Users Office*

# システム構築の経緯

JRR-3の利用に関する手続きは、機構外の供用ユーザーから見た場合、課題申請、マシンタイム申請、来所手続き、成果報告などの一連の手続きの窓口が分散していたことで煩雑になっていたこと、また、近年の機構内のネットワークセキュリティの引き上げに伴い従来のファイルメーカーシステムの利用が困難な状況となったこと、さらに、震災の影響でJRR-3が長期間停止することから、この機に原子力機構では量子ビーム応用研究部門、研究炉加速器管理部研究炉利用課、産学連携推進部と共同でワーキンググループを立ち上げ、利用手続きを一貫して行える新しい利用申請システムの構築を進めてきました。

新しいJRR-3利用申請システムは、本システムを通して中性子利用者の環、中性子施設の環、利用者と施設を結ぶ環が広がってほしいという意味を込め『JRR-3 Research Information NaviGator (「RING」=「環」)』と名付けられました。

本システムは原子力機構所掌装置の平成25年度課題の募集から運用開始することになりました。

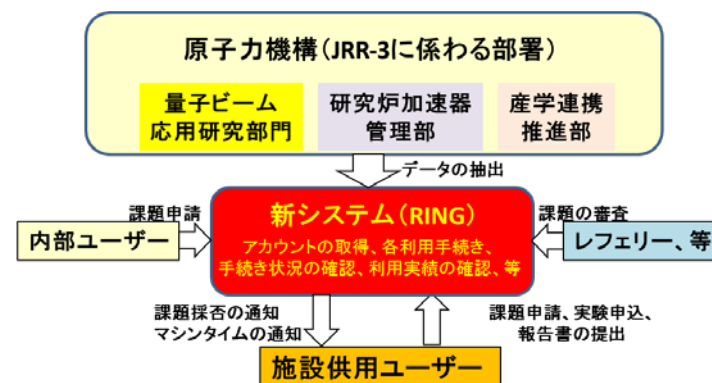
# システムの概要

ユーザーが行う一連の利用申請手続き全てを、RINGを通して行えるよう構築しています。これにより、ユーザーは今後、RINGのみを窓口として手続きすれば良く、また機構内の担当部署もRINGを通して内部手続きを行います。RINGに窓口を一元化することで、ユーザー側から見た利用制度の煩雑さを無くし、よりユーザーフレンドリーなシステムの構築を目指しています。また、これまでのシステムと同様に査読者による課題審査も行えるようになっていきます。

## RINGで行える利用申請手続き

- ・課題申請
- ・マシンタイム申請※
- ・来所手続き・宿泊予約※
- ・報告書の提出※

※作成中



新利用申請システム(RING)の概要

# システムの特徴

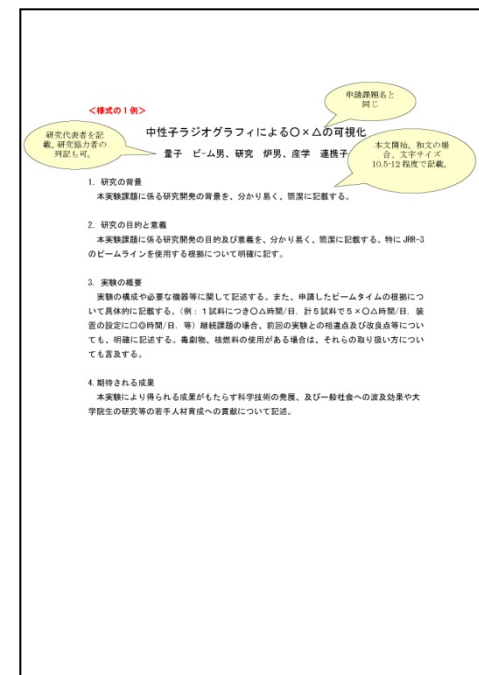
新システムにおける大きな変更点として、ユーザーに対しパーマネントなIDを付与することが挙げられます。IDで管理することで、ユーザーが自らの過去の申請や共同研究者となる申請の閲覧、申請ステータスの確認、さらに将来的にJRR-3成果データベースと連携した際には自身の成果へのアクセスが可能となります。また、1つのIDで申請者、査読者、装置管理者など権限を同時に管理することができ、各々のステータスでの作業が同一アカウント上で実行可能です。

1ユーザーに対し1IDを付与するコンセプトはRINGの重要な根幹をなしています。IDによるユーザー管理は、ユーザー側から見た利便性の向上に加え、施設側にとっても、ユーザー情報の正確かつ簡便な把握が行えることで、研究用原子炉の正確なニーズの把握に繋がり、ユーザーへのサービス向上に役立てられる側面もあります。このため、RINGにおいては、課題申請者だけでなく、共同研究者として来所される方全員にIDを取得していただく必要があります。

# 従来システムとの相違点①

## (1)研究提案書

本課題申請システムにおいては、ユーザーが、より工夫して実験課題の内容を説明、論じることができるように、実験概要の記述形式が変更されました。従来システムの場合、実験概要の記述は、web上で直接入力する形式でしたが、本課題申請システムでは、ユーザーが作成した研究提案書をPDFファイルとして、web上からアップロードする形式となっております。研究提案書は、A4書式\_最長2ページで、実験背景、目的、実験方法等を自由形式(フリーフォーマット)で記述します。参考のために、ワーキンググループで作成した研究提案書のテンプレートを用意し、web上でダウンロードできるようにしています。「研究提案書」の内容は、中性子ビーム利用専門部会の審査要領(RING上でダウンロード可)に基づき、審査されます。作成の際は、これらの審査基準を考慮して作成する必要があります。



研究提案書の例

## 従来システムとの相違点②

### (2)ローカルコンタクト

新たな入力項目として、「ローカルコンタクト」(課題情報ページ)が追加されました。これは、課題申請に当たって、装置関係者と課題実験の内容について事前相談の有無を確認するためのもので、入力は、原子力機構の装置担当者等のリストからコンタクトパーソンを選択する形式となっています。このローカルコンタクトは、課題申請における必須項目であり、事前にコンタクトされることを強く推奨するものです。特殊な実験条件などを事前相談無しに申請する場合、審査の段階において不利になる可能性があります。なお、装置担当者をご存じない、初めてJRR-3をご利用される方は、JRR-3ユーザーズオフィスにお問い合わせください。

### (3)ユーザページ

ユーザトップページ上では、実験代表者、実験協力者として申請した課題に関する情報も確認できます。また、審査委員に選定された場合は、各課題の査読に関する情報も確認することができます。将来的には、こうした課題申請、実験利用申込みのステータスに加え、各年度の利用実績(課題番号、課題名、成果報告書の提出の有無)等の閲覧も可能になる予定です。

# その他・問い合わせ先

## (1)その他

本課題申請システムの具体的な操作、入力方法、等については、「課題申請システムの利用の手引き」等を用意しております。RING上でダウンロードして、ご確認ください。

現在、RINGにおけるJRR-3の実験利用申込み、成果報告書の提出に関する部分は、ワーキンググループで鋭意作成中です。これらに関しては、運用可能になり次第、改めてお知らせいたします。

## (2)問い合わせ先

RINGに関するお問い合わせは、以下のe-mailで承っております。

e-mail: [wwwstaff.ns@jaea.go.jp](mailto:wwwstaff.ns@jaea.go.jp)